

長崎縣日中親善協議會

# NEWS

# NEWS

NEWS  
INFORMATION  
TOPICS  
COMMUNICATION

第

55

卷

発行/2022(平成14年)12.20

長崎縣日中親善協議會



2022年(平成14年)9月21日

## 日本観光展オープニングセレモニー・テープ・カット

## 日中国交正常化30周年記念事業

「長崎県日中文化  
観光交流使節団」  
訪中

植林式典(平成14年9月22日)



長崎県観光交流の夕べ(平成14年9月20日)

日中国交正常化30周年を記念して、今回、日本から約1万3千人が中国を訪問いたしました。本県も「長崎県日中文化観光交流使節団」として、9月20日(金)から23日(月)まで、野崎市長崎県観光連盟会長を団長に、金子長崎県知事、加藤長崎県議会議長をはじめ、県議会並びに市町村及び観光業界などから参加された総勢178名の団員を派遣いたしました。北京市内の人民大会堂では、約6千人が参加した歓迎レセプションが行われ、翌日には、植林式典や日中友好文化観光交流式典、中国領要人との会見などが行われました。

長崎県・福建省友好県省締結20周年  
日中国交正常化30周年記念長崎県・福建省  
友好親善訪問団の  
派遣

日中国交正常化30周年並びに長崎福建友好県省締結20周年を記念して、本県と福建省との一層の交流拡大と友好関係の充実・強化を図るため、平成14年7月15日(月)から18日(木)まで金子長崎県知事を団長に加藤長崎県議会議長をはじめ、県議会並びに市町村及び経済界等の参加を得て、総勢256名の訪問団を派遣致しました。

訪問団全員が、今回の訪問での主要な行事である、福州市で開催された「長崎福建友好県省締結20周年並びに日中国交正常化30周年記念レセプション」に出席しましたが、和やかな雰囲気の中、両県省



福州長楽空港での歓迎式(平成14年7月15日(月))

の芸能も披露され、大盛會でした。

また、福建省・市のトップクラスの政府要人との意見交換、懇談の機会をいただき、各地で心温まる歓迎を受け、本県からは、福建省内の財政窮乏地区内小学校の教材購入に役立てていただくために300万円の寄付金の目録を福建省に贈呈いたしました。この中で、福建省と長崎県との友好関係は特別である事が度々言及され、相互の友好交流関係の深さが改めて確認されるとともに、今後幅広い分野での友好交流の発展を相互に約束するなど、大きな成果が得られました。

## 「中日友好の使者」の称号受賞



## 長崎県日中親善協議会 副会長 松藤 悟司 氏

長崎県日中親善協議会副会長である松藤悟司氏(株式会社松藤商事代表取締役社長)は、長年にわたる日中友好交流の促進に貢献した功績により、中日友好協会から「中日友好の使者」の称号を受与されました。本県では、1997年の高田勇知事(当時)以来、2人目となる受賞です。授与式は、10月17日、中国・北京市の中日友好協会において行われ、陳永昌中日友好協会副会長をはじめ呉瑞鈞中日友好協会秘書長ほかが出席されました。

昭和54年、同氏の実父、渉氏が長崎県日中親善協議会副会長就任と同時に同協議会の発展を期して寄付をされました。平成4年3月、渉氏が亡くなられた後も、同氏が故人の遺志を受け継いで、同協議会副会長に就任され、寄付も引き続き行われています。これまでの寄付



金により、同協議会では、青少年訪中団の派遣、中国語講座、中国語コンクール、県内在住の中国からの留学生・研修員との新年交歓会などの事業を実施してまいりました。また、1995年の中国駐長崎総領事館開設10周年記念訪中時及び2000年の15周年記念訪中時には中国の小学校建設のための寄付を行うなど、これまで日中親善に多大な貢献をされています。また、昭和58年には新松藤奨学育成基金を設立し、平成8年から留学生等に対して毎年奨学金を支給されています。このような日中両国間の交流促進に対するこれまでの功績が高く評価され今回、受賞されました。

## 「中日友好の使者」称号について

中日友好に尽力された方に授与される称号。  
これまでの受賞者数は、30名。

平成14年11月5日(火)～7日(木)の日程で汪 毅夫(おう きふ)団長(福建省副省長)ほか5名は、長崎県と福建省との友好県省締結20周年を記念した友好親善訪問団として来県され、金子長崎県知事、加藤長崎県議会議長を表敬訪問されました。

また、長崎市の平和公園をはじめ島原市の雲仙岳災害記念館や雲仙などを視察されました。

長崎県・福建省友好県省締結20周年  
日中国交正常化30周年記念福建省友好親善  
訪問団の来県

一つの大きな夢がありました。それはチベットに行くことでした。その夢は5年前に叶いました。しかし、この夢を思いついたのは小学校5年生の時でした。夢というものはあきらめず思い続けなければ叶うものだと知りませんでした。

今思えば、中国との結びつきはこの時から始まっていた。そこから22年の時をへて今、長崎県日中親善協議会にいます。夢と現実とは違うもので、ここにいると日本と中国の文化や習慣の違いから生まれてくる多くの問題にぶつかります。しかし、よくよく考えるとこれは仕方がない問題です。なぜなら、生まれた場所、育った環境、言葉に文化、目に入る景色、ありとあらゆるものが違うのですから。仕方がないといえば、仕方がありません。

そこで「仕方がない」であきらめてしまっただけの自問自答するだけでは「否」でした。問題は「仕方がない」では解決しないのです。日本に来た外国人が日本で幸せに生きてくれないならば日本人も幸せにできないのです。今、世間では外国人による犯罪が多発しています。彼らも犯罪者になりたくて日本へ来たわけではないと思います。夢や希望を持って日本へ来たと思います。すべての人間の夢や希望が叶うわけではありません。挫折もあると思います。その挫折の中に日本人社会が外国人を受け入れない、疎外する仕組みがあるのだとしたら改善しなければならないと思います。

悩みや問題は日本人だけが抱えているものではなく、当然、外国人も日本人と同様に多くの問題を抱えています。自分が思うことは相手も思うことであり、言葉が通じない、コミュニケーションがとれないという理由で彼らの問題を置き去りにすることはできません。彼らの問題を直視し、解決しようとしたならば、解決するための制度やシステムが必要です。しかし、制度やシステムが確立していてもそれが機能しなければ意味はなく、制度やシステムがないから問題から目をそらして良いかという、そうではありません。日本が彼らを受け入れた以上、彼らにも日本人と同等の人権と権利があるのです。もちろん権利の裏側には義務が存在しますが、互いの立場が対等な場合に発生します。

こんな言葉があります。「彼女は湖があることを信じている。どこかに豊かな水をたたえた湖があることを信じている。しかし、私たちはその存在を信じていることができず、いつも水が無くなることを恐れて、武器を持ち小さな争いを続けている。でも本当はどこかに湖はあって、私たちに前に出る勇気があれば、すぐそこに湖があるのかもしれない。」

勇気があれば、彼らが抱えている問題に一緒



岡さん(左)と大浦さん(右)

## 中国へ

岡 裕子  
中国交流コーディネーター

大浦 容子  
中国交流コーディネーター

## 愉快的中国生活

に立ち向かう勇気があれば、もっとすばらしいパートナーシップが築けるのではないのでしょうか。湖は一歩足を踏み出す勇気さえあれば、目の前に存在するのだとしたら、日本と中国の対等なパートナーシップは一歩足を踏み出す勇気によって、築けるのではないのでしょうか。そのためには彼らの「希望になるための努力」を怠ってはいけません。

思います。中国との新しい対等なパートナーシップを築くためには、従来の古典的な手法ではなく、新たな風が必要なのかもしれません。その風を受け入れる勇気が日本人にあるのか、その勇気が今、試されているときではないのでしょうか。

私は彼らの希望になれるような仕事を今後していきたいと思っています。

全ては何げない観光旅行から始まった。知人に誘われて行った中国旅行ではあったが、中国にはさほど興味もなく「三国志の世界か」程度の知識しかなかった。しかしその時、実に私の目から鱗が5枚ほど落ち、完全にはまってしまう今後も抜け出せる見込みがない。感じたのは中国の圧倒的な大雑感、予測不能型にはまらない許容力、パワー溢れる楽しい老百姓(一般庶民)。その空気の中で、本来寡黙な私が異常に陽気になり水を得た魚のようになったことを覚えている。それ以降動機ながらの中国語学習が始まり、ついには長期留学まで果たし、そしてまた旅行にとせせと足を運んでいる。訪れる度毎に出会う人々、それは深夜の南京で一人さまよっていた私を助けてくれた女性ドライバーだったり、杭州で親身に面倒を見てくれた女性行商人、留学した北京の大学の有能で学生思いの恩師、その人たちの笑顔が忘れられず、今度はいつ行けるかと計画を練るのである。

現在は長崎県日中親善協議会の職員として勤務しており、これまで中国駐長崎総領事歓迎レセプション、ながさき国際協力・交流フェスティバル等の行事のお手伝いをさせて頂いた。また他にも翻訳や簡単な通訳等をさせて頂いている。どの業務も当然ながら中国文化や中国語にふれる機会が多く、趣味と志向と実益がぴったり一致した、ほぼ理想的な業務である。中国の人々との交流も以前に比べ格段に増えてきている。

ある識者の言葉に「中国の長い歴史の中で育まれ今も息づいている、対立より調和と結合を志向する精神の力こそ、21世紀の世界をリードし、平和への一つの原動力に繋がっていくであろう」とあった。次元は違うが、私もこの中国の底に流れるものを学び感じながら、先ず自分の周りからの交流を大切に、これからもまた私自身の中国史を綴っていききたい。



平成14年度

## 通常総会 開催

中華人民共和国駐日本国大使館  
葉 冬柏(よう とうはく) 参事官

平成14年7月23日(火)、長崎市内のホテルにて平成14年度の通常総会を開催いたしました。総会では、会員約100名が出席し、今年度の事業計画並びに、昨年度の事業報告等が承認されました。総会終了後は、中華人民共和国駐日本国大使館 葉 冬柏(よう とうはく) 参事官による講演が行われました。

● 題目 ●

中国の経済情勢及び中日関係

## 日中国交正常化 30周年 記念事業



## 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会への参加



日中国交正常化30周年を記念し、日中両国の中学生による卓球交歓大会を通じて日中両国の友好都市の地域間の友好関係とスポーツ界の相互交流の発展を促進し、特に21世紀を担う青少年の友好交流の輪を大きく広げることを目的に開催された「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」は、全国39都府県99チームが参加し、中国側のそれぞれ友好都市と合同チーム(日中双方男女各1名計4名)を組んで出場しました。長崎県からも6チームが参加し、第2ブロックでは、諫早市-漳州市チームが優勝するなど好成績を上げました。

### 参加チーム

- 長崎県-福建省 ○長崎市-福州市(福建省) ○諫早市-漳州市(福建省)
- 長崎県-上海市 ○佐世保市-廈門市(福建省) ○平戸市-南安市(福建省)

### 開催日程

- 平成14年8月2日(金) 監督会議
- 8月3日(土) 開会式、練習
- 8月4日(日) 試合
- ~5日(月) \*
- 8月6日(火) 記念事業、表彰式、懇親会
- 8月7日(水) 帰国

### 開催場所

中国北京市 中国オリンピックセンター総合体育館  
\*長崎県選手団  
○長崎県・福建省チーム  
監督 篠崎 浩 時津中教員  
選手 向井 将 伍 時津中3年  
選手 芦北 恵 池島中2年  
○長崎県・上海市チーム  
監督 村田 紀子 県卓球連盟理事  
選手 才津 裕太 福江中3年  
選手 加藤 早 幸 諫早中3年

## 中国人墓地清掃



### 【協力団体】

長崎県、長崎市、中華人民共和国駐長崎総領事館、長崎華僑総会、九州青年の船連合会、長崎県地域婦人団体連絡協議会、長崎青年会議所、長崎女子商業高等学校、長崎東ロータリークラブ、長崎中央ロータリークラブ、九州電力株長崎支店、三菱電機株電力・産業システム事業所、株式会社十八銀行、株式会社親和銀行、五洋建設株、長崎県日中親善協議会会員、長崎県海外技術研修員、留学生、研修員、その他

彼岸の中日である9月23日、お天気にも恵まれ、長崎市曙町の稲佐国際墓地で29回目を迎えます中国人墓地清掃が行われました。

王 駐長崎総領事のご挨拶のあと、全員で焼香をすませ、1時間あまり掃除を行いました。毎年多くのボランティアの方々が協力して下さる中、長崎市内の企業の方々も年々増えてきております。本当にありがとうございました。

今年は、日中国交正常化30周年という記念すべき年でしたが、これからも異国の地に永眠されている方々に対する供養のため、中国人墓地清掃を続けていきたいと思っております。

どうぞ皆様のご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ながさき国際協力・交流フェスティバル参加



今年で第4回目を迎える「ながさき国際協力・交流フェスティバル」が、平成14年10月27日(日)、おくんち広場にて行われました。

当協議会も毎年水餃子を出店しております。今年は、3色の水餃子を市民の皆さんに食べていただきました。この餃子は、中華人民共和国駐長崎総領事館の胡 人歴(こじんれき)領事にご教授いただき、2日前から具と皮の準備をいたしました。3色とは、皮の色のことでトマトを使ったピンク餃子、ほうれん草でグリーン餃子、そして普通の餃子です。とても好評でした。

お手伝い下さいました皆様、どうもありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

## ちょっとくっくタイム



中国語講座の講師である、趙 洪地先生、劉 欣先生による受講生対象の料理教室が行われました。趙先生は、男の料理として早くできるそうめんを使ったトマトたっぷりの料理「趙さんのひえひえソーめん」を作り、劉先生は、本場北京より準備したお味噌を使った「じゃーじゃん麺」を作りました。受講生の皆さんは料理では先輩格ですので、両先生は、中国料理を教えながら、逆に料理全般を教えてもらっているようにも見えました。



## 西暦 2003年 行事表 中国関係

行事名称(旧暦月日)	新暦月日	摘要
春節 1月1日	2月1日(土)	中国正月
閏聖帝君飛昇 1月13日	2月13日(木)	崇福寺閏帝祭
元宵節 1月15日	2月15日(土)	新地町 燈籠祭崇福寺 唐人屋敷
福德正神千秋 2月2日	3月4日(火)	唐人屋敷土神祭
觀世音菩薩仏展 2月19日	3月21日(金)	唐人屋敷観音祭
国際墓地清明 3月2日	4月3日(木)	国際墓地展墓
崇福寺清明節	4月5日(土)	崇福寺展墓
天上聖母聖誕 3月23日	4月24日(木)	崇福寺媽祖祭 唐人屋敷媽祖祭
閏聖帝君聖誕 6月24日	7月23日(水)	崇福寺閏帝祭 唐人屋敷閏帝祭
普度蘭盆勝会 7月27日 28日	23日(土) 8月24日(日) 25日(月)	施餓鬼 (中国の盆)
大成至聖孔子聖誕 8月28日	9月最終土曜日 (9月27日)	孔子生誕2554周年祭
国慶節(54周年)	10月1日(水)	建国記念日

※長崎灯籠祭(ランタンフェスティバル)は2月1日(春節)から2月15日まで開催します。

三山公報 長崎孔子廟中国歴史博物館製

# 第23回 長崎県中国語コンクール 開催

予定

とき ● 平成15年3月1日(土)  
ところ ● 長崎原爆資料館ホール



3月の行事として定着しつつある長崎県中国語コンクールも23回目を迎えます。昨年、中国東方航空様からの長崎・上海往復航空券に加え、上海長崎倶楽部様からの宿泊券3泊4日分を提供していただけるようになりました。皆様もどんどん出場して下さい。お待ちしております。

長崎 月曜日 金曜日 上海 (浦東空港)

13:15発 ←(MU520便)→ 13:50着  
12:25着 ←(MU519便)→ 10:10発  
(すべて現地時間での表示)

中国東方航空長崎支店

■ご予約・お問い合わせは  
〒850-0033 長崎市万才町7-1 住友生命ビル4階  
TEL 095(828)1510・FAX 095(828)2539

NAGASAKI PARK SIDE HOTEL

アットホームなおもてなしが、  
長崎パークサイドホテルの隠し味。

一泊二食プラン、一泊朝食プランなど、各種宿泊のご予約を承っております。



忘新年会  
ご予約承り中

長崎パークサイドホテル 長崎パークサイドホテル  
NAGASAKI PARK SIDE HOTEL TEL 095(845)3191

<http://www.showado.co.jp>

新しく開設したホームページの閲覧はこちらから

●サイン(看板)・ディスプレイの企画制作  
●商品紹介及び企業紹介パンフレットやビデオ・CD-ROM等の企画・制作  
●チラシ・ポスター・店内POP等の企画・制作  
●インターネットホームページ等の企画・制作  
/サーバー構築サービス ●写真集、白分集、職業、同人誌等の日賣出版

SHOWADO

TEL 0957-22-6000  
FAX 0957-22-6690

TOPLAN

TEL 0957-21-1500  
FAX 0957-27-0008

## 事務局紹介

- |       |                          |       |
|-------|--------------------------|-------|
| 専務理事  | (地域振興部 理事)               | 篠部 武嗣 |
| 事務局長  | (地域振興部 国際課長)             | 相川 光正 |
| 事務局次長 | (地域振興部 国際課総括課長補佐)        | 大串近太郎 |
| ◇     | (財長崎県国際交流協会 常務理事 兼事務局次長) | 徳永 英機 |
| ◇     | 主任 (地域振興部 国際課課長補佐)       | 岩佐 勝弘 |
| ◇     | 書記 (地域振興部 国際課係長(副参事))    | 藤本 光子 |
| ◇     | (地域振興部 国際課主事)            | 宮崎 大誠 |
| ◇     | (長崎県日中親善協議会書記)           | 大坪 優子 |

事務局一同日中友好推進のため、努力しますので皆様のご支援、ご協力をお願いします。